

教科	国語	単元名	夏の楽しみ
----	----	-----	-------

本時のねらい

○夏の行事に興味を持ち、夏の風景や様子を表した俳句を作ることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイノートのシンキングツールを使うことで、俳句作りの思考を促す。
- ・提出箱に作品を提出させることで、他の児童と共有しやすくする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・大型提示装置
- ・ロイノート
- ・シンキングツール（くまでチャート）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○夏の行事について、思い浮かぶことを話し合う。 ○本時のめあてを把握する。 めあて「夏の俳句を作ろう」 【写真1】	・夏の行事の様子を動画で視聴することで、イメージしやすくする。
展開 (30分)	○俳句にする夏の行事を考える。 ○考えた夏の行事をシンキングツール「くまでチャート」を用いて、5つ（見る、聞く、さわる、味、におい）の視点から思いつくキーワードを考える。 【写真2】 ○夏の行事の様子を俳句にする。 ○考えた俳句を提出BOXへ提出する。 ○提出された作品を全体で共有する。	・シンキングツール「くまでチャート」を使うことで、自分で考えた夏の行事を多面的にとらえやすくする。 ・くまでチャートで考えたことをもとに、俳句づくりをする。 ・できあがった俳句を提出し、共有できるようにする。
まとめ (5分)	○学習を振り返る。 【写真3】	・ふりかえりを提出し、共有できるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】夏の行事の動画を視聴している場面



【写真2】シンキングツールを用いて、行事を多面的にとらえている場面



【写真3】本時の学習のふりかえりをしている場面

児童生徒の反応や姿容

- ・河内音頭の動画を視聴したことで、夏の行事へのイメージをふくらませることができた。
- ・シンキングツールを使うことで、行事の様子を多面的にとらえ、豊かに表現することができる児童が増えて、児童が俳句を作る際の助けになった。
- ・作品を提出し共有することで、学習の振り返りの際、友だちの表現のよさに気づくことができた。
- ・俳句をうまく作ることができたことを実感したことで、次回の作る機会への意欲向上につながった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・俳句づくりを苦手としている児童は少なくない。自由に創作させるのでは、何を書いたらいいかわからない、どうやって作ればよいかわからないということになってしまいやすい。シンキングツールを使うことで、スモールステップの指導になると考えられる。今回使用した「くまでチャート」は、「多面的に見る」ことを目的としたツールで、行事の様子を五感でとらえることをねらいとした。シンキングツールで広げた考えの中から、一番伝えたいことを選ぶことでスムーズに俳句作りを進めることができたと思う。